

## 平成 28 年度 幼保連携型認定こども園における自己点検・自己評価

※ 今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入した。

〔記入方法〕

- ・ A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けている。
- ・ 項目ごとに、意見・改善策を記述した。

A：たいへんよい

B：よい

C：一部検討を要する項目

D：改善を要する

### ◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	

保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか		○			0歳から6歳までの継続した育ちを共有していくために、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を各年齢ごとに10の項目に整理し、職員間で話し合った。また保護者理解を深めるために子どもの姿をボードフォリオで掲示し、その時の子どものつぶやきや思いを注釈をつけ分かりやすくした。
	(2) 目標は 施設や地域の特色を生かしているか		○			
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか		○			
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか			○		
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか	○				個々の子どもの主体性を尊重した活動計画、発達段階に応じた援助や配慮ができるようにチェック項目を見直し、ふり返りを行った。子どもの様々な思いや気づきを促し、生き生きと豊かな体験ができるように、子ども理解や環境の工夫を園全体で話し合い、月1回講師の助言も得て人的物的環境に努めてきた。ディリーは3か月に1度及び季節ごとに見直しを行った。
	(2) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか	○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか	○				
日時程	(1) デイリープログラム等は現行でよいか		○			
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か	○				子ども自身が日々の保育の中で経験したこと、経験を通して成長につながったことを行事に取り組んだ。保育者も子どもの成長を見通しながら計画や内容を考えていくように話し合ったが、学期ごとのふり返り、見直しがもう少し必要だった。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に生かしているか	○				
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか			○		
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
分 掌 ・ 体 制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか		○			職務分担を分かりやすく図式化し意識化していくことで全員が把握できるようになった。職員配置は十分とはいえないので、各クラス連絡し合い応援に入ったり書類の簡素化について話し合ったりしながら、協働できる体制作りを見直した。
	(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか		○			
	(3) 職員の配置は適材・適所か		○			
	(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か		○			

経 営 ・ 組 織	運 営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか		○		保育体制、勤務シフトで全員が会議や勉強会に出席できず、各担当者が会議や研修内容をメールで送り、意見を伝えあった。	
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年 齢 別 ・ ク ラ ス 経 営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか	○			教育・保育要領について月1回勉強会を行い、グループ討議を実施し付箋を貼って全員が理解できるようにした。また計画表を事前提出し、見直しを行った上で保育を行い、振り返りを丁寧に記入するようにした。異年齢保育を行うことでチーム保育、習熟度保育等を行い、個々の子どもの発達に合わせた援助を実践できるように確認した。	
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか		○			
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか		○			
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか	○				
		(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか		○			
	保 健 ・ 安 全 指 導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか	○			看護師が中心となって嘱託医との連携を図り各年齢に合った保健・安全指導計画を立てて活動を行った。感染症などが発生した場合、掲示やメール等で保護者に通知し早めの受診や啓発を実施した。	
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか			○		
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか		○			
	研 究 ・ 研 修	所 内 研 究 ・ 研 修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか	○			月1回子どもの気づきを写真や小論文にまとめ職員間で意見交換を行った。また研究主題が保育目標につながるよう月1回講師の下で学び合いを行ない、0～5歳児の成長の見通しを保育者がさらに共有していかなければならない。
			(2) 所内研修の計画・運営は適切か		○		
(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか				○			
(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか				○			
所 外 研 究 ・ 研 修		(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか		○			
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか		○			

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報につ	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報適正に取り扱っているか	○				個人情報に関する園内研修を実施し取り扱い方法や管理方法についての共通理解を図っているつもりだが、
	(2) 公文書收受 発送 処理を適切に行っているか	○				

いて	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか		○			記録作成をしながら保育に追われ、保育室に置いたままになっていることもある		
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか		○			家具のコーナーや電気の差し込み口など、子どもが取ってしまったまま点検日まで気がつかないこともある。園庭の枝が伸びていたり、忘れた玩具に水が溜まったままなど蚊の発生源になったり日々の保育の中で安全・衛生面等常に意識していかなければならない。		
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。			○				
	(3)不審者等に対応する周到な配慮を行っているか		○					
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか		○					
出納・経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか		○			会計士の指導を受けて処理し、問題点があれば早期に解決し処理している。		
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○		5歳児は地域の3ヵ園との交流会を年4回実施している。他の園にも訪問し環境や課題等の意見交換を行っている。地域の幼保連絡会議等で合同研修や意見交換会などに参加して共通理解を図るようにしている。小学校との交流は数年前より実施し、年4回意見交換会を行い、その後授業参観に参加している。小学校教諭と職員との就学に向けた合同会議も実施している。		
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか		○				
		(3)指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか			○			
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか		○				
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか		○				
	家庭との地域連携社会	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか		○			参観ではなく保護者参加にし、子どもと一緒に活動できるようにしている。参加の行事は子どもが園内で日々経験し、成長していることをホームページや掲示板、スライド等で伝え保護者に関心を深められるようにしている。介護施設や地域の主になる祭り等には	
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○			
		(3)(乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○				
(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。				○				

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開か	子育て支援の	(1)地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	○				できる限り地域の子育て家庭に施設を開放し、集団で

れた 保 育 所 づ くり	推進	(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	○				の成長の経験や虐待防止にもつなげていきたい。	
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○		地域活動や一時保育に参加された時に子育て相談など実施しているが、一部の保護者に参加してもらうのではなく、本当に助けを求めている親子に気軽に参加できるような体制もさらに必要である。	
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。			○			
		(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○					
	情報 の 発 信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。			○			活字だけでは中々読んでもらえないので、写真やスライドなどを使って関心を持ってもらいやすい伝えるようにした。ホームページやボードフォリオなどに子どもの活動や成長を掲載し、保護者と共有していきたい
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	○					
	外部 評 価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○			意見箱の設置をしているが利用者数は少ない。保育内容や対応などについてアンケート調査の実施の見直しが必要。意見の公開、反映できるようにしていかなければならない。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。			○			